



横浜市消防局  
YOKOHAMA FIRE BUREAU



# 令和3年度 港北区 家庭防災員研修

防火研修 ・ 救急研修  
地震研修 ・ 風水害研修

作成:横浜市港北消防署総務・予防課

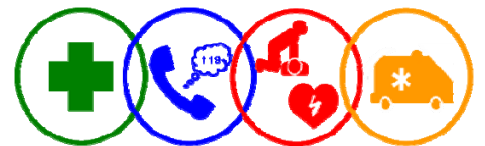
# もくじ



- |     |                |          |
|-----|----------------|----------|
| 1   | 家庭防災員制度とは・・・   | P. 1     |
| 2   | 家庭防災員の研修について   | P. 1     |
| 3   | 防火研修           |          |
| (1) | 火災について         | P. 2     |
| (2) | 防災機器等          | P. 2～3   |
| (3) | 避難について         | P. 3     |
| (4) | 通報について         | P. 4     |
| (5) | 消火について         | P. 4     |
| 4   | 救急研修           |          |
| (1) | 救急の状況について      | P. 5     |
| (2) | 応急手当（救命処置）について | P. 5～6   |
| (3) | その他の応急手当について   | P. 6     |
| 5   | 地震研修           |          |
| (1) | 地震の知識          | P. 7     |
| (2) | 震災への備え         | P. 8     |
| (3) | 情報収集           | P. 9     |
| (4) | 発災時の対応とその後     | P. 10～11 |
| 6   | 風水害研修          |          |
| (1) | 風水害・土砂災害への知識   | P. 12～13 |
| (2) | 風水害・土砂災害への備え   | P. 13～14 |
| (3) | 風水害・土砂災害・雷への対応 | P. 15～16 |
| (4) | マイ・タイムラインの作成   | P. 16    |

# 自助

# 共助



# 1 家庭防災員制度とは…



「自らの家庭は自らで守る」という自助から始まり、災害時には「地域防災の担い手」としても活動できるよう、防火・防災に関する必要な知識や技術を身に付けることを目的とした**研修制度**です。



〔家庭防災員予防員と呼ばれていた際の委嘱式の様子〕

## 【家庭防災員の歴史】

- 昭和43年 「**市民防災の日**」の制定（毎月15日）
- ・ 「家庭防災員」（昭和43年9月戸塚区）
  - ・ 「ママさん防災点検員」（昭和44年5月神奈川区） **が誕生**
  - ・ 「婦人防火指導員」（昭和44年5月南区）
- 昭和44年 制度の発足「家庭防災員予防員」の誕生
- 昭和59年 「家庭防災員」に名称変更
- 平成22年 「家庭防災員制度」見直し（**市長委嘱から研修制度へ**）
- 平成24年 「研修制度」運用開始（現行の制度）
- 令和3年 「シンボルキャップ」廃止



S59～  
シンボルマーク



H19～  
シンボルキャップ

# 2 家庭防災員の研修について

自治会長・町内会長  
からの推薦

- ・ 年度末に自治会長あてに消防署より依頼をしています。  
※個人の研修となりますので、代理出席はできません

研修の受講

- ・ 研修期間は1年間とし、【**防火・救急・地震・風水害**】研修※1に参加することで研修が終了となります。  
※1今年度はこの資料の配布とアンケートの提出をもって研修受講とします。  
※2その他にも任意研修「**スキルアップ研修**」を企画いたします。

新規家庭防災員

- ・ 研修を修了した皆様は、家庭防災員です！  
ご自宅や地域の防災へのご尽力をお願いいたします。

家庭防災員研修受講記録				
受講日	防火	救急	地震	風水害
	EP	EP	EP	EP
スキルアップ研修				

【家庭防災員研修 終了証裏面】

## 家庭防災員自主活動 家庭防災員研修テキストP.5

家庭防災員の皆様が主体となり、行う自主的な防災活動です。  
家庭防災員自主活動には補助金を受けることができます。  
(例：防災マップの作製、炊き出し訓練etc)  
※事前に消防署への申請が必要となります。

【補助限度額】 ※参加人員に応じて

10人以下	・・・	2万円
11～30人	・・・	6万円
31～50人	・・・	10万円
51～100人	・・・	20万円
101人以上	・・・	25万円

# 3 防火研修

## (1) 火災について テキストP.6~12

住宅火災の発生状況を確認すると、放火による火災よりも、**こんろ**火災や**たばこ**火災など、家庭内の火災が多く発生しています。

テキストを読み**自宅の火災危険を確認**しましょう！

### こんろ 火災



Point

- ・調理中は離れない
- ・コンロ周りの整理整頓

### たばこ 火災



Point

- ・吸い殻の後始末
- ・寝たばこはしない

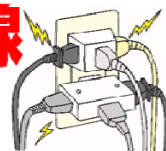
### 暖房器具 火災



Point

- ・燃えやすい物は近づけない
- ・寝る前に電源を切る

### 電気配線 火災



Point

- ・ほこりを溜めない
- ・束ねたり、たこ足は厳禁

## ◆令和2年火災発生状況

	全国	横浜市	港北区
火災発生数	34,602件	624件	46件
住宅火災数	10,468件	266件	19件
住宅火災原因1位	<b>こんろ</b> 1,797件	<b>こんろ</b> 59件	<b>こんろ</b> 8件
住宅火災原因2位	たばこ 1,290件	たばこ 48件	電気配線 5件
住宅火災原因3位	ストーブ 794件	放火(疑い含む) 26件	放火・たばこ 各2件
火災による死者数	862人	12人	0人
死者数のうち高齢者	615人	10人	0人

「つい・・・」「うっかり・・・」に**要注意!**

## (2) 防災機器等

テキストP.13

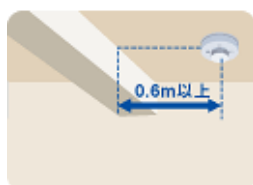
### ◆住宅用火災警報器

火災の煙や熱を感知して警報音や音声で火災を知らせるものです。

住宅用火災警報器は**法令で設置が義務**付けられています。

住宅用火災警報器には、煙を感知するものと熱を感知するものがあります。

【設置位置】（設置場所はテキスト参照）



梁から  
0.6m離す

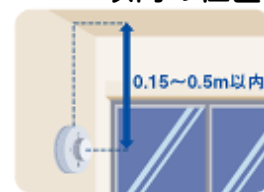


壁から  
0.6m離す



エアコンの吹き出し口  
から1.5m以上離す

天井から0.15m～  
0.5m以内の位置



### 【電池の寿命とお手入れ】

設置義務化から10年が経過します。

ご家庭の警報器が**作動するかテスト**しておきましょう。

また、定期的なお手入れも重要ですので、維持管理をしっかりしましょう。





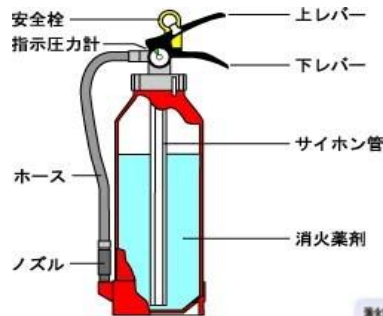
## ◆住宅用消火器 テキストP.13~14 . 23

### 【有効期限】

住宅用消火器：約5年  
エアゾール式簡易消火具：約3年

### 【購入】

ホームセンターなどで販売しています。  
「**国家検定合格品**」を購入！



【蓄圧式消火器】



### 【検定合格表示】

### 【廃棄方法】

- ・ 近くの特定期間又は指定引取場所での回収。
  - ・ ホームセンター等での購入時の引取り ※引取りできない場合もあります。
  - ・ エアゾール式簡易消火具は回収は行っておりません。
- ※横浜市では、中身：新聞紙などを入れた袋等へ出して燃えるゴミ  
缶：空にしてスプレー缶として破棄しましょう。  
(換気の良い場所で行いましょう)



### 【リサイクルシール】

## ◆防災製品・防災物品 テキストP.14

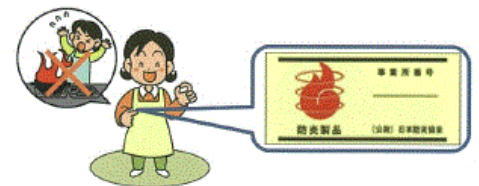
火気の付近で使用する布製品は、防災加工してある防災物品・防災製品を使用しましょう。  
例) カーテン、寝具、エプロン、車のカバー等・・・



【防災物品ラベル】



【防災製品ラベル】



## (3) 避難について テキストP.15~18

煙には多くの有毒ガスが含まれています。  
火災による死者の大半は煙によるものです。  
煙の危険性と避難方法を理解しましょう。



【避難口誘導灯】



【通路誘導灯】

空気中の一酸化炭素濃度(%)	症状
0.02	2~3時間で軽い頭痛がする
0.04	1~2時間で頭痛、吐き気がする
0.08	45分でめまい、けいれんを起こす
0.16	20分で頭痛、めまい、2時間で <b>致死</b>
0.32	5~10分で頭痛、30分で <b>致死</b>
0.64	5~15分で <b>致死</b>
1.28	1~3分で <b>致死</b>

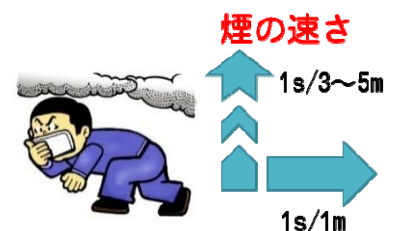
【一酸化炭素の危険】

### 【煙の危険性】

- ・ 煙は一酸化炭素などの**有毒ガス**が含まれています。(一酸化炭素は濃い濃度だと数分で危険)
- ・ 空気が熱せられ、その空気を吸い込むことによって**気道熱傷**になる恐れがあります。  
気管や肺が火傷をすると呼吸ができなくなり、非常に危険です。

### 【避難方法】

- ・ 煙は空気より軽く上方へ広がるため、姿勢を低くし、ハンカチやタオルで口を塞ぎ避難しましょう。  
※煙の層より下は、酸素や視界が確保できる可能性があります。
- ・ 避難口の方向を確認するために、**誘導灯**や**放送**をよく確認して避難しましょう。



## (4) 通報について テキストP.19～21 , 39

横浜市では、119番通報は保土ヶ谷区の司令センターにつながります。  
119番通報では、消防隊や救急隊を出場させるため、様々なことお聞きします。  
落ち着いて回答しましょう。



119番通報

・119番通報は局番なしです。

火事 or 救急

・火事の通報か救急要請か答えましょう。

住所の確認

・住所は「横浜市」から答えましょう。

状態の確認

・火災の場所や病人の状況を聞き、消防隊や救急隊へ伝えることで迅速な活動ができるようにしています。



通報者の連絡先

・状況を再度確認する等、通報者へ連絡する場合がありますので、連絡先や名前をお聞きします。

### 【携帯電話での通報】

GPSで住所がピンポイントで特定できるわけではありません。  
必ず住所の確認が必要なため、住所や目印になる建物や交差点などを伝えましょう。

### 【救急車を呼ぶか迷った場合・・・】

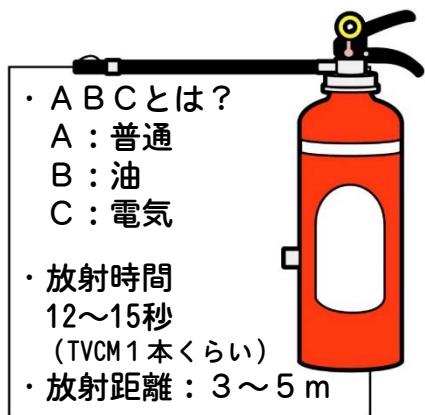
**横浜市救急相談センター「#7119」**  
を活用しましょう。

電話で医療機関の案内や症状に基づく緊急性や受診の必要性についてアドバイスを受けることができます

☎ #7119 又は 045-232-7119

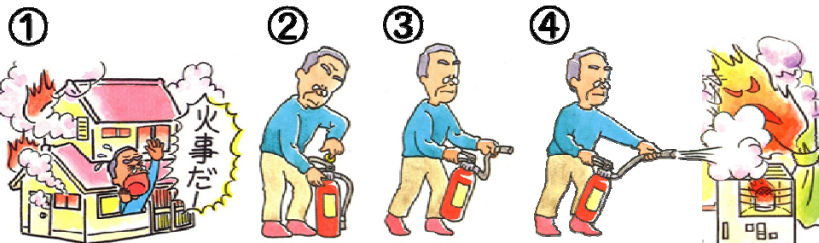
## (5) 消火について テキストP.22～24

### ◆粉末ABC消火器について



- ・ABCとは？
- A：普通
- B：油
- C：電気
- ・放射時間  
12～15秒  
(TVCM1本くらい)
- ・放射距離：3～5m

### ◆消火器の使用方法



- 1 火災を発見したら、大声で周囲に知らせましょう。
- 2 安全な位置まで消火器を運び、黄色いピンを抜く。  
(退路を確保)
- 3 ホースを抜き、ノズルを燃えているものに向ける。
- 4 「ん～っつ」とレバーを握り薬剤を噴射。  
(箒で掃くように)

※消火器の「基本(きほん)」で覚えましょう!

※天井に火が回っていると消火器1本では消火困難なので避難を優先しましょう。

# 4 救急研修

## (1) 救急の状況 テキスト P26

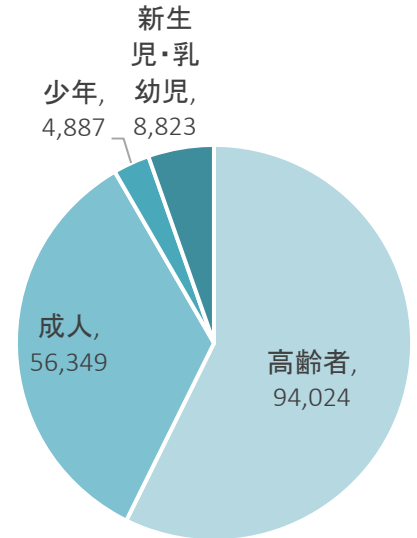
現在、横浜市では約100台の救急車を運用しています。

令和2年は市全体で**194,639件**の出場があり、2分42秒に1回出場していることとなります。

※搬送数の半数以上が高齢者となっています。

港北区では、令和2年の出場件数が15,291件もの出場があり、出場件数は市内18区で一番多く、約35分に1回出場していることとなります。

年代別搬送人員



## (2) 応急手当（救命処置）について テキスト P27~28

救急車の到着は全国平均で約9分です。

救急車の到着までに皆様が通報と一次救命処置を行うことで、助かる可能性が上がります。

### ◆心停止の予防

心筋梗塞や脳卒中などは**生活習慣の改善**で**予防**できます。

子どもの事故などは「目を離れた時に」が多く、しっかりと見守ることが大切です。



### ◆救命処置の流れとポイント テキスト P29~33

**安全の確保**

- ・周囲に危険が無いかを確認
- ・危険がある場合は移動または安全の確保



**反応の確認**

- ・両肩を軽く叩きながら呼びかけ反応を確認
- ・呼びかけは徐々に大きくしながら3回ほど呼びかけます。



**応援を呼ぶ**

- ・大声で応援を呼び協力者を集めましょう
- ・協力者に119番通報とAEDの手配を依頼します。

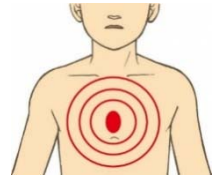
## 呼吸の確認

- ・胸部と腹部を目視で確認します。(10秒以内)
- ・普段通りの呼吸でない場合は「呼吸無し」と判断します。



## 胸骨圧迫

- ・胸の真ん中にある胸骨の下半分を5cm押します。
  - ・リズムは1分間に100回～120回(1秒に2回程度)押します。
- 【合言葉】強く!(5cm)速く!(100～120回)絶え間なく!(中断を最小限)**



### 胸骨圧迫

### 人工呼吸

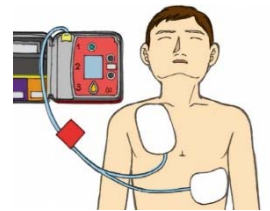
- ・人工呼吸は省略可です。
  - ・胸骨圧迫を30回+人工呼吸2回を絶え間なく続けます。
  - ・胸骨圧迫は手をしっかりと組み手の付け根部分で押します。
  - ・肘を伸ばし、しっかりと体重を乗せるようにしましょう。
- ※現在、感染症予防の観点から成人に対する人工呼吸は実施しません。

### ◆AEDの使用について

## AED

AEDは自動で心電図を解析して、電気ショックが必要な時だけショックボタンが操作できるようになります。

- ・AEDが到着したらすぐにAEDを使用しましょう。
- ・電源を入れ、音声メッセージの案内のとおりを使用しましょう。



### ◆心肺蘇生法以外の応急手当 テキストP33～38

## 止血

体の血液量は体重の約8%で、その血液量の20%が失われるとショック状態になります。(例)体重50kg・約800ml出血でショック状態  
出血時は、ガーゼやタオルを当て、感染防止をして圧迫止血を行いましょう。

## 熱傷

やけどをした際に水道水などの流水で冷やします。やけどの際はすぐに冷やしましょう。  
氷などで冷やしすぎると低体温症など危険があります。注意しましょう。

## 熱中症

体温が上がり体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節ができなくなる障害のことです。小まめな水分・塩分補給と休憩や温度の調節などに注意!  
【水分補給での注意!】  
コーヒー、緑茶、紅茶、お酒に含まれるカフェインやアルコールには利尿作用があるので水分補給にはなりません。

## 気道異物

窒息のサインを発見したら、相手に伺い背部叩打法や腹部突き上げ法を行い異物を除去しましょう。  
※妊婦や乳児には腹部突き上げ法は使用できません。



# 5 地震研修

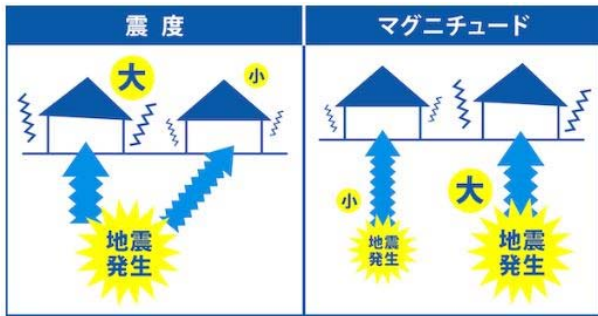
## (1) 地震の知識 テキストP.42

大地震が発生した場合には多くの被害が発生します。  
 地震の仕組みやテキストの被害想定や揺れの目安を参考に  
 にどのような被害があるか知っておきましょう。

【阪神・淡路大震災】



### ◆震度とマグニチュードの違い

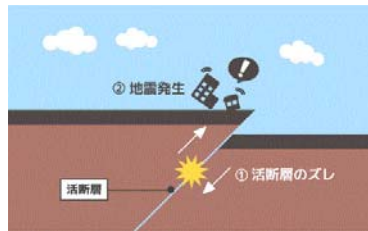


・マグニチュードと震度の違い  
 マグニチュードは、地震の力の大きさ  
 震度は、場所ごとの揺れの大きさ

### ◆地震の種類（直下型と海溝型）

#### 【直下型地震】

- ・縦揺れで狭い範囲
- ・短い時間の揺れ

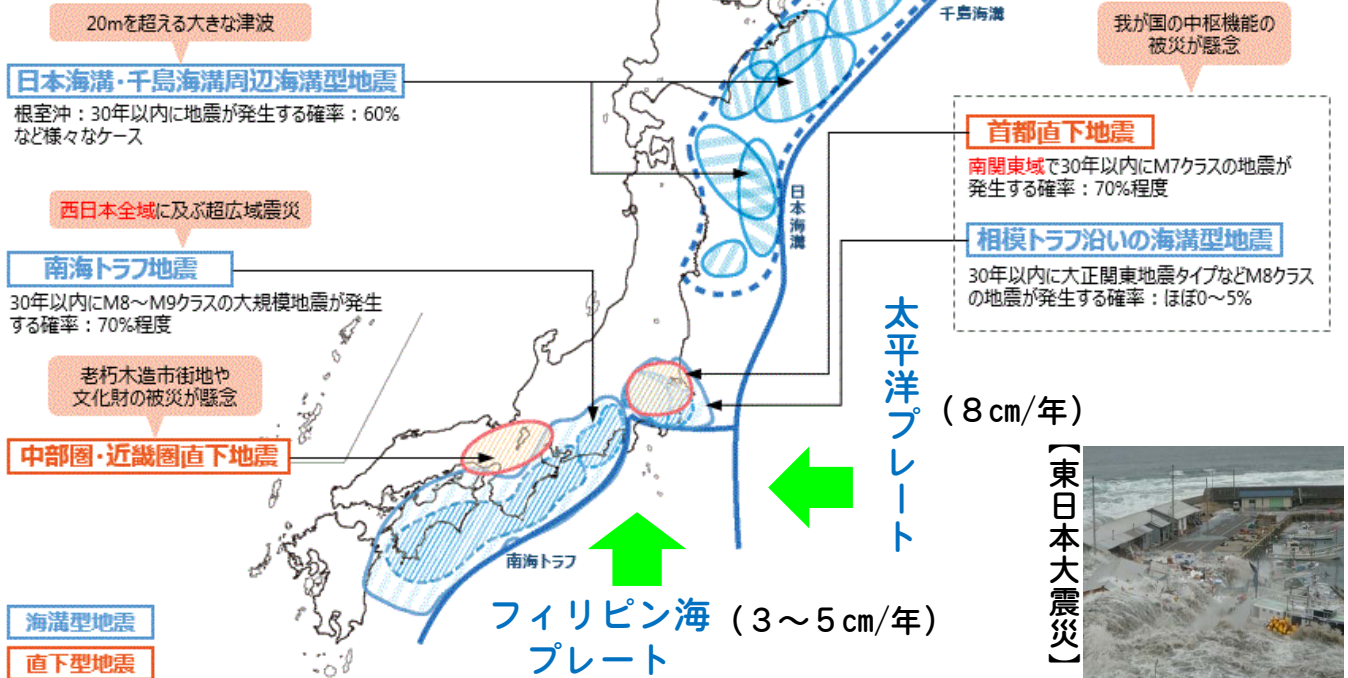


#### 【海溝型地震】

- ・横揺れで広い範囲
- ・長い時間揺れる



## 想定地震図



【東日本大震災】



### ◆被害が大きかった地震（抜粋）

【年月日】	【場所】	【震度 (M)】	※気象庁HPより 【住宅全壊】	【死者】	【負傷】
H30. 9. 6	北海道胆振東部地震	震度7 (6.7)	469棟	43人	782人
H30. 6.18	大阪府北部	震度6弱 (6.1)	21棟	6人	462人
H28. 4.14	熊本地震	震度7 (7.3)	8667棟	273人	2809人
<b>H23. 3.11</b>	<b>東日本大震災</b>	<b>震度7 (9.0)</b>	<b>121996棟</b>	<b>19729人</b>	<b>6233人</b>
H20. 6.14	岩手・宮城内陸地震	震度6強 (7.2)	30棟	17人	426人
H19. 7.16	新潟県中越沖地震	震度6強 (6.8)	1331棟	15人	2346人
H19. 3.25	能登半島地震	震度6強 (6.9)	686棟	1人	356人
H16.10.23	新潟県中越地震	震度7 (6.8)	3175棟	68人	4805人

※上記で津波発生した地震：東日本大震災 9.3m以上・新潟中越沖地震 32cm・能登半島地震 22cm

## (2) 地震への備え テキストP.43～50



地震はいつ起こるかわかりません。  
ご自身や家族の皆様の命を守るため、日ごろの備えをしておきましょう。

### 家族で考える

- ・ 家族の連絡手段や集合場所
- ・ 家族の持ち出し用品の確認
- ・ 家庭内の転倒防止や備蓄品に必要なものの把握



- ・ 知識・技術の共有（消火器の使用方法や震災時の行動避難場所等）
- ・ 近隣の危険な個所の把握や帰宅ルートの確認



### 家庭での備え

- ・ 備蓄品の確認  
3日分の食料、飲料の確保  
水道断絶時のトイレの用意  
その他、家庭に合った物品  
(育児や介護用品)



- ・ 非常用持出品の確認  
持ち運ぶ量は限られます  
持出品を厳選して用意しておきましょう
- ・ 家具の転倒防止



ガラスの飛散防止やセーフティエリアの確保なども有効です。

### 地域での備え 火災への備え

- ・ 地域の訓練に参加  
例) **地域防災拠点訓練**  
自治会などの**防災訓練**  
初期消火器具等の取扱訓練



- ・ 通電火災への予防  
地震が発生し停電から通電が再開される際に火災が多く発生する可能性があります。  
避難する時にブレーカーを切るようにしましょう（**感震ブレーカー**等を設置することで被害を軽減できます）

## ◆家庭内DIG

資料「家庭内DIG」(P.18,19)を使用してご自身の家の図面を描き客観的な視点で危険個所や今後の対策について考えてみましょう。

### 家庭内DIG

家庭内の危険個所や安全な場所を今一度確認しましょう。  
・ 平面図を記入し、家具などを配置しましょう。

・ 現在の非常持出品      ・ 今度の対策・準備内容

### 家庭内DIG(例)

詳細に記載されていますが、大まかな平面図を書き、家で話し合えるようにしましょう。

・ 現在の非常持出品 (2袋) ・ 今度の対策・準備内容

### (3) 情報収集 テキストP.50~52,57



災害時には、様々な情報が集められます。  
TV、ラジオ、インターネット、近所など・・・  
自分に必要な情報を正確に収集できるようにしましょう。  
また、自分がどこに避難するかなどを事前に調べておきましょう

#### ◆情報の入手

- ・災害用伝言ダイヤル（171）
- ・横浜市ホームページ
- ・災害時安否情報システム
- ・横浜市防災情報Eメール【登録】
- ・緊急地震速報（気象庁）
- ・緊急速報メール（横浜市内）
- ・Yahoo!防災速報【登録】
- ・Twitter  
(横浜市総務局危機管理室アカウント)
- ・防災スピーカー
- ・広報車両（区役所・消防署・警察署）

#### ◆情報の内容

- ・安否確認
- ・気象情報（警報・注意報等）
- ・地震情報
- ・水防災情報
- ・地域防災拠点の開設状況など



#### ◆避難場所 テキストP.57

避難場所には、「広域避難場所」と「地域防災拠点（指定避難場所）」などがあります。  
「防災マップ」を確認して、家からの避難経路などを確認しておきましょう。  
※防災マップは港北区役所で配布しています。（港北区役所HPからもご覧いただけます。）  
※ 区内の広域避難場所と地域防災拠点（指定避難場所）の一覧は、P.17の「資料」を参照

### (4) 発災時の対応とその後 テキストP.52~60

#### 地震時の措置3原則

その場にあった 身の安全	すばやく 火の始末	となり近所の 助け合い
-----------------	--------------	----------------



#### 【発生時の行動】

- ・地震が発生した際に「あっ！地震だ・・・」となりがちです。  
地震が発生した際に素早く動くことがご自身や家族を守ることにもつながります。
- ・頭部の保護、火の始末、避難路の確保、津波や危険地帯からの避難、ブレーカーOFFなど  
地震を感じたり、緊急地震速報が発令された場合に**即座に行動する癖**をつけましょう。



## ◆避難時のポイント

災害はいつ起こるかわかりません。

在宅時・外出時・職場での危険性と安全の確保を確認しましょう。

普段からの備えと心構えで被災時にすぐに行動できるようになりましょう。

### 在宅時

- ・落下物や転倒物から身を守る（頭部）
- ・飛散物からの保護（履物の着用）
- ・避難口の確保（ドアの開放）
- ・ブレーカOFF、ガス栓を閉める
- ・電気機器のプラグを抜く
- ・火の始末
- ・家族の安否確認
- ・情報収集



### 外出時

- ・落下物や倒壊物から身を守る
- ・転倒物からの避難
- ・地割れや陥没部分からの回避
- ・エレベーターでは近い階での停止
- ・河川や海、山の場合は崖崩れ、津波の危険があるため、急いで避難
- ・車での移動中は道路左に停車、避難時はキーをつけたまま避難



### 職場

- ・落下物や転倒物から身を守る
- ・帰宅物品、宿泊物品の確認
- ・職員の安否確認
- ・家族の安否確認
- ・帰宅ルート等の確認
- ・重量物からの避難（コピー機など）
- ・火元の確認
- ・職場の状態確認
- ・情報収集



## ◆となり近所の助け合い

- ・震災時は消防車や救急車がすぐに駆けつけられません。自助・共助がとても重要です。自身の安全の確保はもちろんですが、近隣での助け合いが必要となりますので、協力関係を日ごろから作りましょう。



### ※意外と使える家にある救助道具

- ・車用ジャッキ（重量物の持ち上げ）
- ・バール（瓦礫の撤去）
- ・毛布（搬送・保温）
- ・物干し竿（搬送）
- ・ロープ（危険個所の固定）など・・・



## ◆帰宅困難対策

- ・外出時に被災すると帰宅困難になり、交通手段や連絡手段がなく混乱する可能性があります。仕事先からの帰宅方法や家族との連絡方法、仕事場への「宿泊用品・帰宅用品」の備えをしましょう。
- ・利用施設  
災害時帰宅支援ステーション  
（トイレ、水道、道路情報、休憩所等の提供）  
帰宅困難者一時滞在施設（帰宅可能までの滞在施設）





# 6 風水害研修

## (1) 風水害・土砂災害の知識 テキストP.61

### ◆風水害の知識

#### 【風水害の災害現象】

#### 氾濫

氾濫には、堤防を越えるなどする**外水氾濫**と住宅地などの用水路や下水道からの排水が困難になることにより浸水する**内水氾濫**があります。

#### 高潮 高波

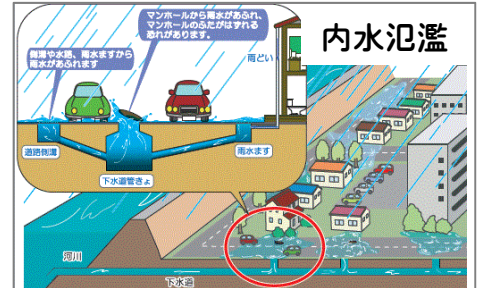
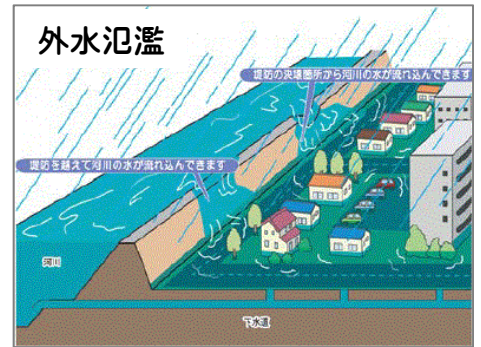
高潮：台風などの気圧降下や海水の吹き寄せなどにより海面が異常に上昇する現象 1 hpa下がると、海面は1 cm上昇する  
高波：波浪注意報・警報となる高い波 (1.5m以上)

#### 風害

風による災害  
台風・強風・竜巻・塩風害・乾風害など

#### 冠水 浸水

冠水：作物や道路が水をかぶること  
浸水：水が入り込むこと  
家などの床に届かないのは「**床下浸水**」  
水が入り込むのは「**床上浸水**」  
その後水が引かない現象を「**たん水**」と言います。



平成16年台風22号横浜駅西口

### 【目安】 (雨量と風速) テキストP.61~62

天気予報などで、予想される雨量や風速などを見たときに実際にどのような**被害が想定**されるのかを知ることで、事前の対策などを確実に行えます。

今後の台風の接近時や大雨の予報があったときは起こりうる被害を想定し、迅速な行動をしましょう。

#### 【雨量の目安】

10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
---------	---------	---------	---------	--------



ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感。
---------	-------	------------------	---------	---------------

#### 【風速の目安】

風速 (m/s)	人への影響	建造物の被害
10m以上15m未満	傘がさせない	取付不完全な看板やトタン板が飛ぶ
15m以上20m未満	転倒する人も出る	ビニールハウスが壊れる
20m以上25m未満	身体を確保しないと転倒する	シャッター、風で飛ばされた物でガラス割れる
25m以上30m未満	立ってられない	ブロック壊れる、取付不完全な屋外の外装材がはがれる
30m以上		屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊

## 【河川の水位】

大雨や台風などの際には河川の水位情報を収集し、**減災行動**に努めましょう。  
事前にハザードマップなどご自身の地域の被害想定などを確認しておくようにしましょう。

## 【水位の説明】（洪水ハザードマップ裏面参照）

洪水予報の標題（種類）	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
〇〇川氾濫発生情報 （洪水警報）	氾濫の発生 （氾濫水の予報※）	氾濫水への警戒を求める段階 【警戒レベル5相当】
〇〇川氾濫危険情報 （洪水警報）	氾濫危険水位（レベル4水位）に到達	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階 【警戒レベル4相当】
〇〇川氾濫警戒情報 （洪水警報）	一定時間後に氾濫危険水位（レベル4水位）に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位（レベル3水位）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階 【警戒レベル3相当】
〇〇川氾濫注意情報 （洪水注意報）	氾濫注意水位（レベル2水位）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階 【警戒レベル2相当】

## ◆土砂災害の知識 テキストP.63～64

### 【土砂災害の種類】

災害現象	説明
がけ崩れ	降雨時に斜面にしみ込んだ水分により急激に崩れ落ちる現象
地すべり	斜面の一部・全部がゆっくりと斜面下方へ移動する現象
土石流	土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へ押し流される現象

※港北区では、「地すべり」、「土石流」の被害が想定される区域はありません。

### 【警戒区域】（土砂災害ハザードマップ参照）

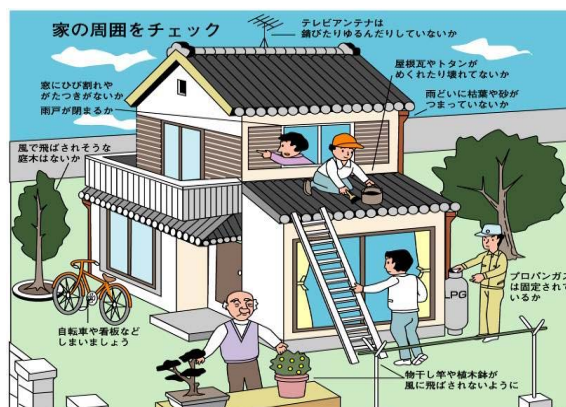
- ・土砂災害警戒区域（土砂災害の発生の危険）220区域
- ・土砂災害特別警戒区域（土砂災害による建物・住民への著しい危害の発生の危険）213区域

## (2) 風水害・土砂災害の備え

### ◆風水害への備え テキストP.66～67

#### 【家庭での確認】

家庭で情報収集し、大雨や台風の際の避難経路や危険箇所・避難場所などを共有しておきましょう。  
家の周囲を確認し、修理・補強を行いましょう。



#### 【情報収集】

- ・横浜市防災情報
- ・各種ハザードマップ
- ・水防災情報
- ・その他（P.50）テレビ、ラジオ等・・・



【特別警報と警報について】（参考）

特別警報	内容
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表します。
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合に発表します。
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合に発表します。
波浪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高波になると予想される場合に発表します。
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合に発表します。

警報	内容
大雨	大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
洪水	河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
大雪	降雪や積雪による住家等の被害や交通障害など、大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
暴風	暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
暴風雪	雪を伴う暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
波浪	高波による遭難や沿岸施設の被害など、重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
高潮	台風や低気圧等による異常な潮位上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。

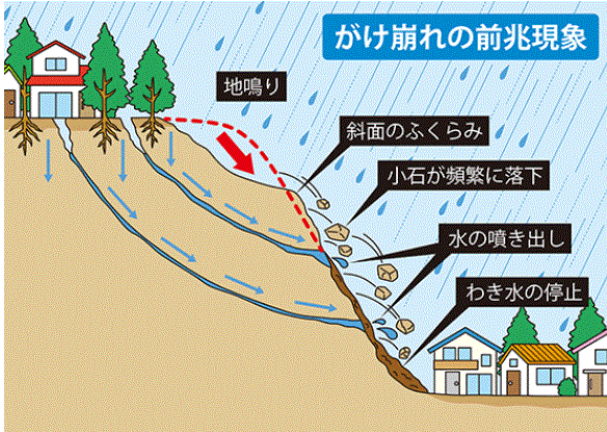


◆土砂災害への備え **テキストP.68～69**

土砂災害は一瞬にして発生します！

前兆や土砂災害の発生危険を知ること、万が一の際に被害から逃れることができます。

【土砂災害の前兆】



地滑り	地面がひび割れ・陥没
	がけから水が噴き出す
	井戸・沢が濁る
	地鳴り・山鳴り
	樹木が傾く
土石流	亀裂・段差の発生
	山鳴り
	川が濁り、樹木が混ざる
	腐った土の臭い
	降雨での水位低下
	木が裂ける、石がぶつかる音

◆警戒レベルについて **テキストP.70**

**令和3年5月20日から**  
ひなんしじ  
**避難指示で必ず避難**  
ひなんかんこく  
**避難勧告は廃止です**

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	災害発生 又は切迫 <b>緊急安全確保※1</b>	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~~		
4	災害の おそれ高い <b>避難指示※2</b>	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	災害の おそれあり <b>高齢者等避難※3</b>	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の発令を待つてはいけません！**

避難勧告は廃止されます。これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から**全員避難**しましょう。

避難に時間のかかる**高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から**避難**しましょう。

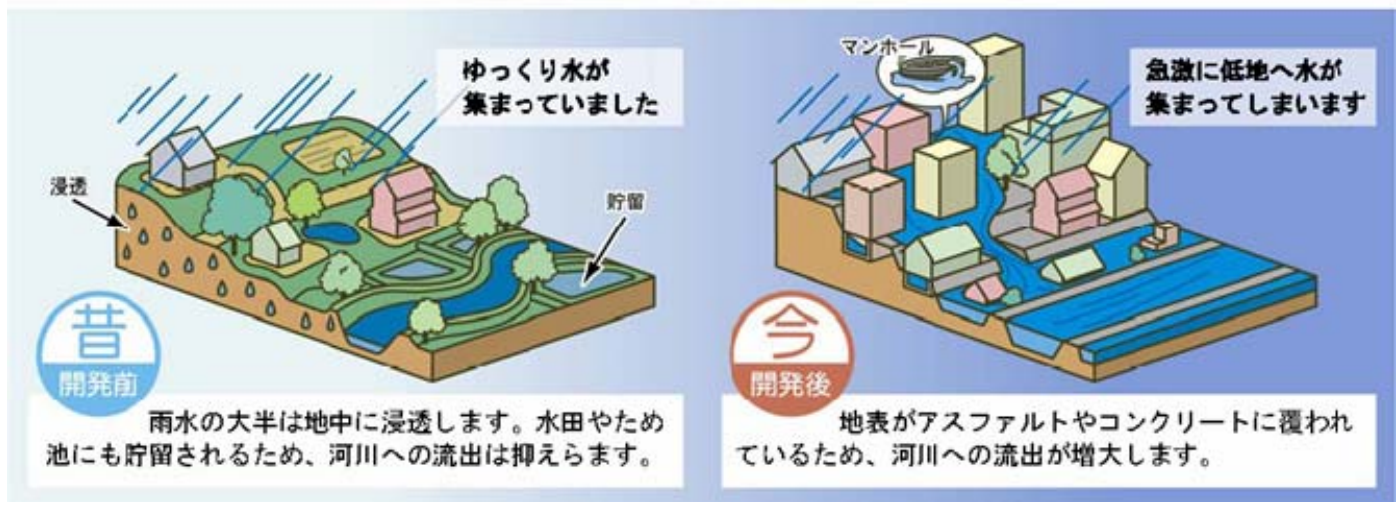
**内閣府(防災担当)・消防庁**



### (3) 風水害・土砂災害・雷への対応 テキストP.70

#### ◆都市部の浸水被害

コンクリートによる地下への保水機能が低下し、内水氾濫が増加



#### ◆避難のポイント！

- ・水深を見て歩行ができるか確認
- ・服装、履物が避難に適切か確認
- ・避難者の状態を確認し、援助等の協力（子供・高齢者）
- ・道路状況を調べるため、杖などで確認しながら行動
- ・無理に屋外避難はしない
- ・火の始末と戸締り



#### ◆地下の危険性 テキストP.71~73

大雨のときは地下室・地下鉄・地下街・アンダーパスにいるのは危険！

#### 気象情報に注意！



外の様子が不明

#### 停電・感電に注意！



浸水で停電

#### 避難経路を確認！



猛烈な勢いでの水の侵入

#### 閉じ込め注意！

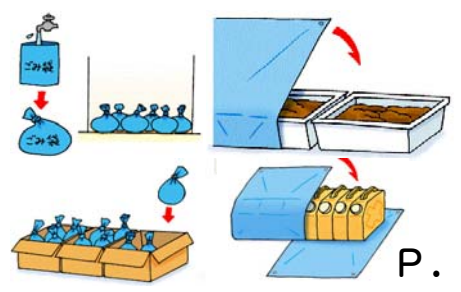


水圧でドアが開かない

#### ◆水防工法

簡易水防工法の紹介 ※危険な時は早めに避難！

ビニール袋・段ボール・ポリタンク・レジャーシート等  
家にあるものを活用して浸水を防ぎましょう。



◆土砂災害への対応 テキストP.73

【避難場所】

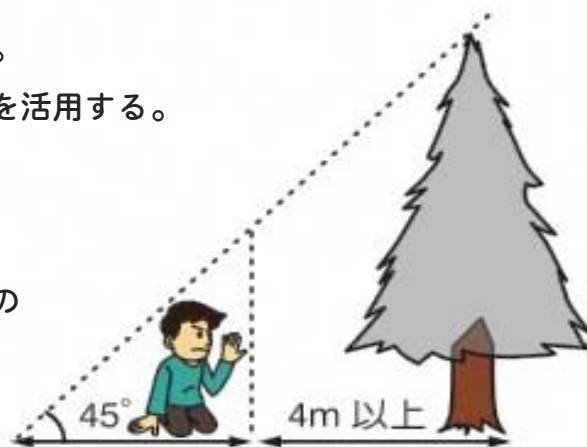
- ・避難が困難な時は頑丈な建物の2階以上へ避難
- ・2階への避難が困難な時は安全な場所（がけから離れた部屋）に避難

【救助要請】

- ・大声、物を叩く、防犯ベルなどの大きな音を出す。
- ・連絡ツール（携帯での通報、懐中電灯の点滅等）を活用する。

◆雷への対応 テキストP.74

雷から身を守るために、離れる距離や高い物体からの安全な角度などを知っておきましょう！



(4)マイタイムラインの作成 テキストP.75

同封してある「マイ・タイムライン作成シート」にご自身の避難計画を記入し事前に避難行動を把握しましょう。

**大切な命・財産を守るため  
防火・防災・減災  
みなさんの近くから実施しましょう!**

**安全・安心な港北区を  
目指しましょう!**

## 広域避難場所と地域防災拠点について

テキストP.57

### 【広域避難場所】

※地震の延焼火災の輻射熱や煙から市民の生命・身体を守るために一時的に避難する場所です。

- ・ 高田小学校一帯・慶應義塾大学・コンフォール南日吉一帯
- ・ 新羽小中高一帯・港北高校一帯・岸根公園
- ・ 新横浜駅前、日産スタジアム
- ・ 勝田団地（都筑区）・三ツ池公園（鶴見区）

### 【港北区地域防災拠点（指定避難場所）】

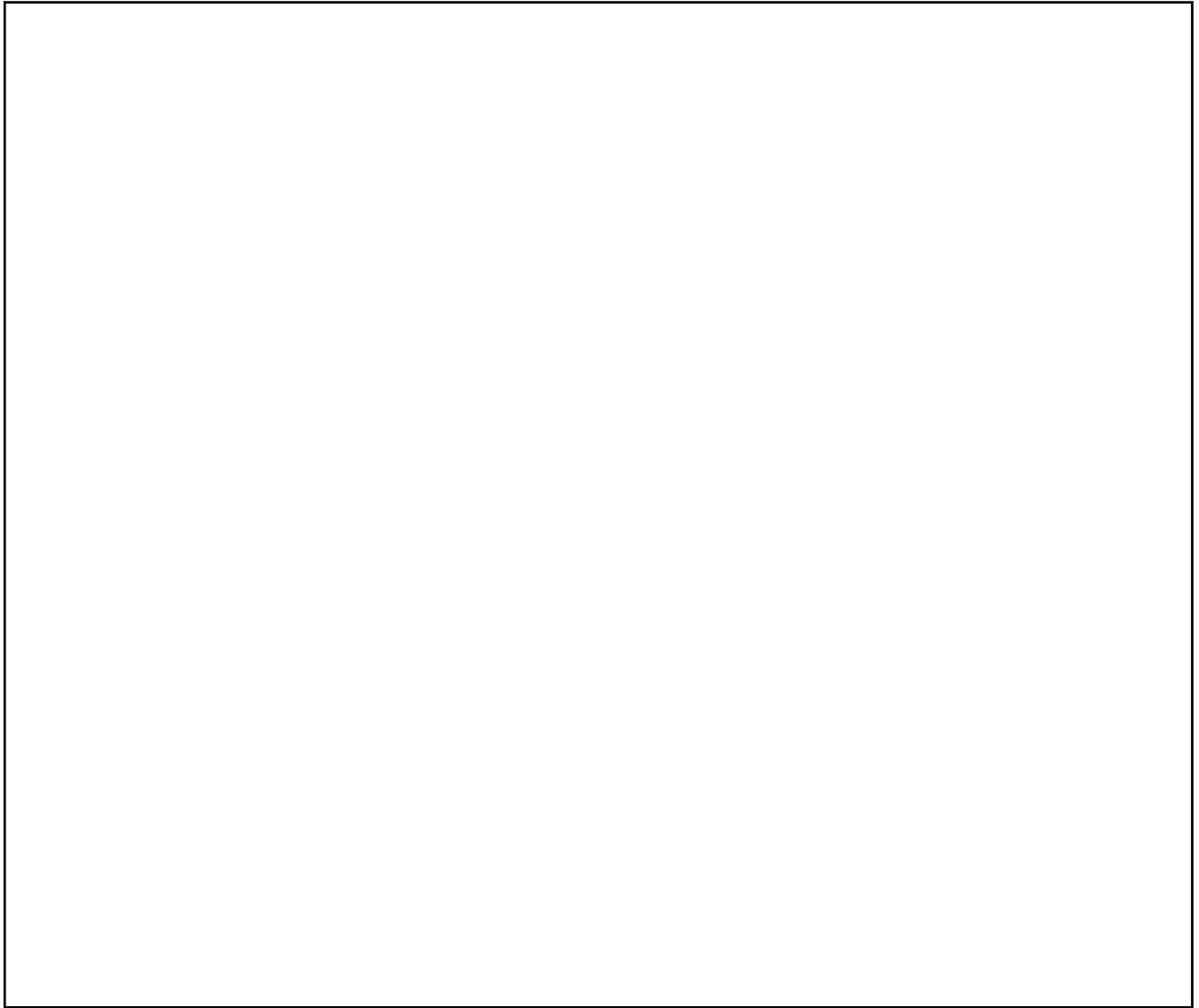
※家屋の倒壊などにより自宅で生活できない方が一定期間避難生活を送る場所です。

- ・ 城郷小学校・小机小学校・城郷中学校・篠原小学校
- ・ 篠原西小学校・港北小学校・菊名小学校・大豆戸小学校
- ・ 大綱小学校・太尾小学校・師岡小学校・大曾根小学校
- ・ 樽町中学校・綱島小学校・北綱島小学校・綱島東小学校
- ・ 日吉台小学校・日吉南小学校・矢上小学校・駒林小学校
- ・ 下田小学校・高田中学校・高田東小学校・新田中学校
- ・ 新吉田第二小学校・新吉田小学校・新田小学校
- ・ 新羽小学校・箕輪小学校

# 家庭内DIG

家庭内の危険個所や安全な場所を今一度確認しましょう。

- ・ 平面図を記入し、家具などを配置しましょう。



- ・ 現在の非常持出品



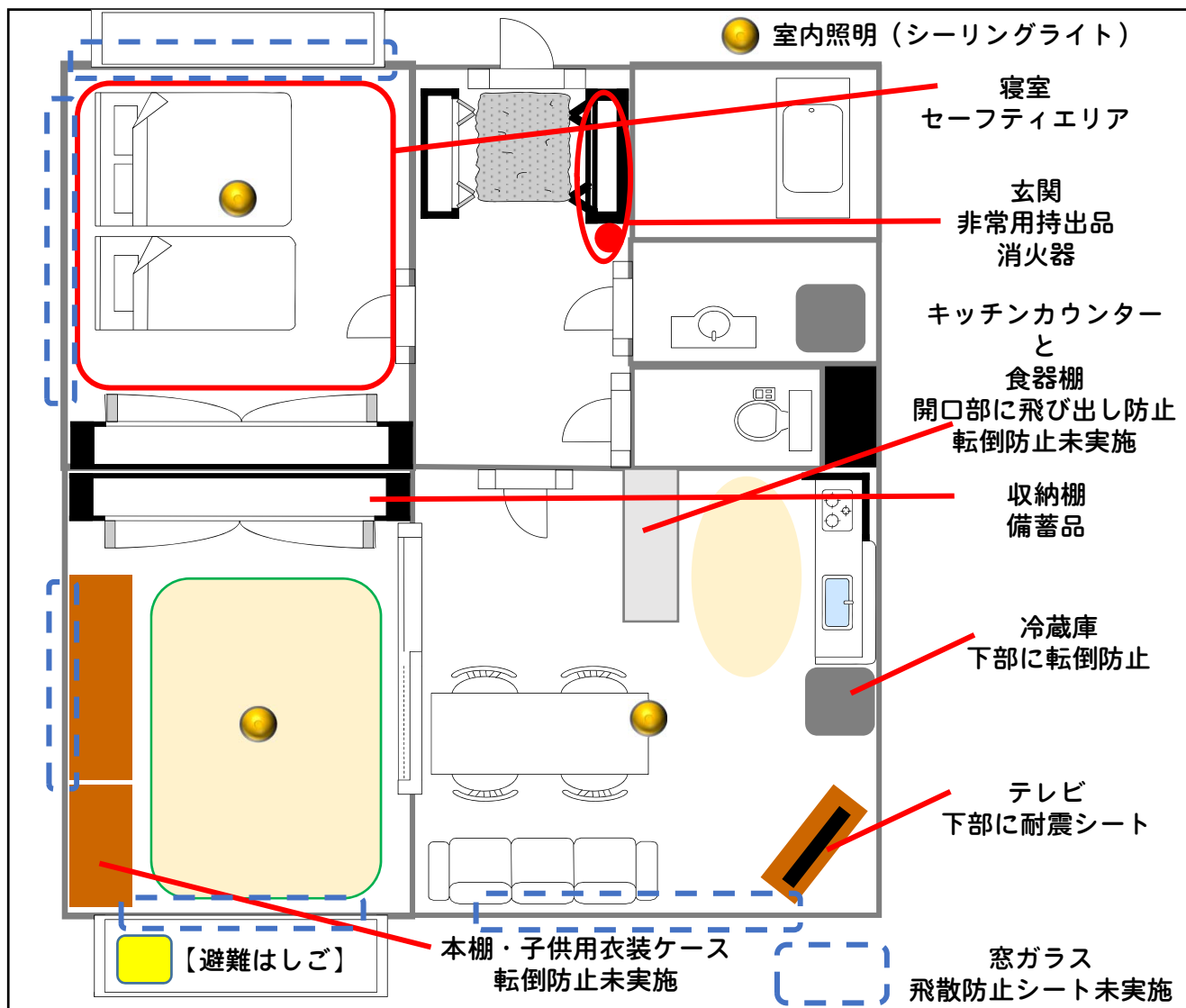
- ・ 今度の対策・準備内容





# 家庭内DIG(例)

詳細に記載されていますが、大まかな平面図を書き、家で話し合えるようにしましょう。



## ・現在の非常持出品 (2袋) ・今度の対策・準備内容

- ・水 2L
- ・食料 アルファ米 3日分
- ・缶詰、クラッカー等
- ・ライト
- ・紙皿、コップ
- ・ラップ
- ・電池
- ・携帯充電器
- ・ウエットシート
- ・育児用品 (オムツ、ミルク)
- ・水汲み
- ・簡易トイレ
- ・圧縮タオル
- ・下着
- ・アルコールバーナー
- ・金属コップ
- ・ラジオ
- ・救急箱

- ・窓ガラスへの飛散防止シートの実施
- ・キッチンカウンターへの転倒防止
- ・室内履き (震災用) の準備
- ・感震ブレーカの設置